

2021年12月6日

「DX認定事業者」の認定取得について ～DX認定制度における信用金庫業界初の認定～



京都中央信用金庫(理事長 白波瀬 誠)は、経済産業省が定めるDX認定制度において、2021年12月1日付で信用金庫では初めての「DX認定事業者」に認定されましたので、お知らせします。

記

1. DX認定制度の概要

DX認定制度は、2020年5月15日に施行された「情報処理の促進に関する法律の一部を改正する法律」に基づく認定制度で、DX推進の準備(経営ビジョンの策定やDXに関する戦略および体制等)が整っている事業者を、経済産業省が「DX認定事業者」として認定する制度です。

2. 当金庫のDX(デジタル・トランスフォーメーション)の取組み

当金庫では、2021年4月よりスタートした新中期経営計画において、「DXへの挑戦」を安定した経営基盤を確立するためのコア戦略に位置づけ、7月に『地域で一番、お客さまと“広く、深く”つながる金融機関へ』をDX-VisionとするDX戦略を策定いたしました。DX戦略では、「デジタル活用による劇的な業務効率化」、「データ利活用による対面営業の高度化」、「取引・契約手続きにおけるUXの高度化」、「基幹システムのオープン化による開発の柔軟性向上」の4つを重点戦略に掲げています。さらに、テクノロジーやデータの利活用という側面だけではなく、これら重点戦略を実現するための基盤となる「組織文化のトランスフォーメーション」や「デジタルカルチャーの醸成・強化」にも積極的に取り組んでまいります。

2021年8月には戦略企画部内に「デジタル企画グループ」を新設、2022年1月には基幹システムの更改に合わせて同システムのオープン化を実現する予定です。今後も、DX-Visionの実現に向けて、「DXへの挑戦」を加速させていくとともに、お客さまへの新たな価値提供を通じ、サステイナブルな地域社会の実現に貢献してまいります。

・DX認定制度 ロゴマーク

